

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立上野芝学校
校長 池田 毅

中学校区におけるめざす子ども像
「確かな学び」 他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども 「豊かな心」 正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども
「健やかな体」 心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども

令和7年度 重点目標
健康で豊かな心を持ち、主体的に学ぶたくましい児童の育成 めざす子ども像「かがやく子」
【未来を切り拓く力を育成する学校】
○総合的な学力の育成(=社会の担いとして必要な力):授業改善 ○豊かな心と健やかな体の育成:個の自立⇄「仲間づくり」への取り組み ○安心・安全を自らつくる力の育成:自分の命を自分で守る取り組み
【自主性・自律性に富んだ自立した学校】
○学校マネジメント力の向上(情報共有・予防的取組・危機対応) ○ウェルビーイング向上とデータを活用した自己評価でR-PDCAサイクルを確立(人事評価と学校力向上プランの連動)
○信頼される教職員集団へ(人権の尊重:コンプライアンス意識の向上)

確かな学びの現状
本校の児童は学ぶことに意欲的で、仲間とともに協働して学習に取り組む力、各教科の基礎・基本も良好に育っている。課題は、学校での学びを生かして次の課題へとつなぐ「自ら学びを進める」姿にはまだ至っていないところである。学校では主体的・対話的な学びを進め、目的をもって学んだ成果を校内の仲間や身近な人に伝える学習活動を取り入れる中で、学ぶ意義を考えたり自らの学びを振り返ったりすることで、「自らの学びを進める姿」を高めていきたい。
豊かな心・健やかな体の現状
基本的な生活習慣が身につけている児童が多い。豊かな心の素地である「あいさつ・返事」「そうじ」「言葉遣い」について様々な取り組みを行っているがまだまだ受け身の児童も多い。あいさつや掃除に心をこめて取り組むことは、自分を振り返り自らを成長させるため、また他者を理解し受け入れ仲間と協働するために不可欠であると気づかせたい。さらに自らの生活を見つめる習慣を持ち、改善のために取り組む意識や、安全のために自分の行動をよくしようとする意識も高めたい。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include '授業改善', '学ぶ習慣', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)
学校教育目標について保護者・地域の皆様にご理解いただくために、学校協議会、ホームページを活用して情報発信に努めた。今後もめざす子どもの姿とその具現化に向けた取り組みを分かりやすくお伝えするようにしたい。生活科・総合的な学習の時間を中心として、教科横断的な活動を積極的に取り入れることで、学んだことを意欲的に伝える子どもの姿が多くみられ、「確かな学び」が定着した。また道徳・人権学習、安全指導・保健指導を通して、児童の意識が向上したことから、自分も人も大切に「豊かな心」を育むことができたと考えている。今後も教育課程の充実を図り、地域のご協力をいただきながら、学校教育目標の実現にむけて取り組んでまいりたい。
学校関係者評価者から(年度末)
学校からの情報提供により、教育活動の概要が把握でき、子どもたちの健やかな成長を確認することができた。今後も上野芝の子どもの実態とめざす子どもの姿を地域で共有し、学校・PTA・地域のより良い連携を図りながら、学校協議会での討議を充実させていきたい。